

## 学生が企画・参加するイベント情報

### ギター・マンドリンクラブ

#### 第46回定期演奏会

日時：12月8日(土) 18:00開場 18:30開演  
会場：なら100年會館

マンドリン系楽器、クラシックギター、  
コントラバスで奏でるすてきな音色を  
聴きにきてみませんか？

I・III部はマンドリンのために作られた曲、II部  
はUSJをテーマとしてノリの良い曲を、時にやさ  
しく、時に力強い音色で演奏します。  
マンドリン音楽を聴いたことのない方も大歓迎で  
す。たくさんのご来場をお待ちしております。

### ウインドアンサンブル

#### 第31回定期演奏会

日時：12月27日(木) 17:30開場 18:00開演  
会場：奈良県文化会館国際ホール

曲目：  
第I部 ゴールド・ラッシュ！ / 高橋伸哉  
夢への冒険 / 福島弘和  
レパントの海戦 / 広瀬勇人  
第II部 第11回N教アワー  
第III部 アミューズメント・パーク組曲 / 高橋宏樹  
パリのスケッチ / M.エレビー

2012年の締めくくり、音楽のスパイスいかがでしょうか？  
部員一同心よりお待ちしております。

# 天平雲

Vol.207

2012.10.31発行

発行/奈良教育大学学生委員会  
〒630-8528 奈良市高畑町  
奈良教育大学学生支援課内  
TEL. 0742-27-9130  
FAX. 0742-27-9146  
E-mail: service@nara-edu.ac.jp  
題字/奈良教育大学教授 福光 佐今

第50回近畿地区  
国立大学体育大会

## 硬式野球部

# 優勝おめでとう!!



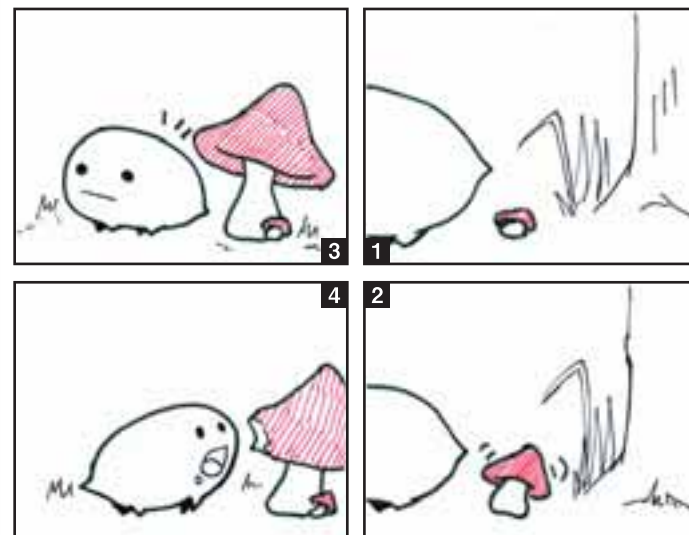
8月20~23日に橿原市の佐藤薬品スタジアム(県立橿原公園野球場)で開催された  
第50回近畿地区国立大学体育大会(野球)において、  
本学硬式野球部が第39回大会以来11年ぶりの優勝を果たしました。  
また、本学が当番校として開催された大会であったため、  
スコアボード操作や場内放送などの本部運営も硬式野球部が行いました。



今回、私たちの大学が大会の幹事校にあたり、初めて運営の仕事もさせていただきました。  
本来ならば、ベンチにいるはずの怪我したプレーヤーも運営側に回ってくれ、マネージャーもフル活動で挑  
みました。朝早く会場に行きラインを引いたり、ファウルボールを取りに行ったり、BSOのカウント操作やアナ  
ウンス等、大変なことも多々ありましたが、改めてたくさんの人の支えがあってこそ試合ができるのだとい  
うことを実感しました。  
そして、記念すべき第50回の今大会で優勝でき、とても嬉しく思います。運営の仕事があり、力いっぱい応  
援できなかったのが少し残念ですが、試合で頑張っている奈教硬式野球部の姿や、選手達のありがとうの  
言葉は私達の大きな支えでした。  
今回、貴重な体験をさせてもらい、とても感謝しています。今後とも奈教硬式野球部をよろしくお願  
いします！  
(硬式野球部マネージャー 2回生 水間理子)

## 秋のめぐみ

作：漫画研究会



### (編集後記)

教育実習に行かれたみなさん、実習はうまくいきましたか？ 実習を通し  
て、「教師になりたい!」という思いがより強くなったという人も多いのでは  
ないでしょうか。3回生はそろそろ就職にむけて動き出す時期ですが、一  
歩一歩目標に向けて進んでください。  
1・2回生のみなさんは、今のうちにたくさんの経験をして、コミュニケー  
ション力を高めてほしいと思います。

## 大学からのお知らせ

### ○行事予定

10月31日(水)	輝燈祭(大学祭)前夜祭
11月 1日(木)~3日(土)	輝燈祭当日
11月 4日(日)	輝燈祭片付け
11月14日(水)	教員免許申請説明会
11月18日(日)	開学記念日
12月 5日(水)	介護等体験申込説明会
12月10日(月)	学位論文等審査請求届提出期限
12月20日(木)	3回生卒論指導教員届締切
1月17日(木)~23日(水)	臨時休業(センター休み)
1月21日(月)	卒・修論等提出期限

### ○就職関係

平成24年度 教員採用試験対策・就職支援セミナー(予定)

#### <教員採用試験対策>

11月28日(水) 13:00~	教職教養対策講座①
12月 5日(水) 13:00~	教職教養対策講座②
12月12日(水) 13:00~	教職教養対策講座③
12月19日(水) 13:00~	教職教養対策講座④
1月 9日(水) 13:00~	教職教養対策講座⑤
1月16日(水) 13:00~	教職教養対策講座⑥
1月30日(水) 13:00~	教職教養対策講座⑦

#### <就職支援セミナー>

11月 7日(水) 13:00~	第3回	企業情報の収集と分析
11月14日(水) 13:00~	第4回	自己分析
11月21日(水) 13:00~	第5回	企業エントリー
11月28日(水) 13:00~	第6回	面接対策① 面接マナー
12月 5日(水) 13:00~	第7回	面接対策② グループディスカッション
1月 9日(水) 13:00~	第8回	面接対策③ 集団面接
1月16日(水) 13:00~	第9回	面接対策④ 個人面接

# なつきよん 食育塾

今年度は、学生企画活動支援事業にも採択されている「なつきよん食育塾」。家庭科教育専修の学生・教員を中心に行っている様々な活動について特集します。

## なつきよん食育塾とは

平成23年春、家庭科教育の学生を中心に発足しました(家庭科教育専修は全員がメンバーです)。「食」や「健康」に関して知識と経験を積み重ね「考動力」を養うことを目指すグループで、活動を通して、コミュニケーション力や問題発見・解決力、積極性、実践力を身に付けることも目指しています。

「なつきよん食育塾」では、学生の発想・アイデアをもとに、食や健康に関する様々な企画・運営をしています。そして、みなさんに食や健康に関する情報をどんどん提供していきます。

## 実習園での、野菜の栽培

年間を通しての活動であり、食育塾のメインともいえる実習園での野菜の栽培。秋を迎え、収穫作業が行われています。その一部は、昨年に続き、家庭科教育専修の模擬店での食材にも使用される予定です。

昨年、にんじんを育てて、にんじんクッキーを作った際に好評であったため、今年にはにんじんに加えて、枝豆とかぼちゃ、金糸瓜を実習園で栽培しています。畑を耕すところから自分たちの手で行うため、苦勞もたくさんありますが、去年のにんじんを収穫したときの感動と、自分たちで育てたにんじんを食べたときのおいしさを思い出すと、やる気が出てきます。枝豆は立派なさやほできたものの、肝心の中身がうまく育たず、肥料を追加したりして試行錯誤中です。あまり知らない人も多いかもしれませんが、枝豆はうまく育てて完熟させると大豆になるのです。私たちの目指すところは大豆の状態なので、道のりはまだまだ遠いですが頑張ります。

リーダー 落合絵未 さん (家庭科教育専修4年生)

## 北海道の過疎地域へのホームステイによる滞在型学習

家庭科教育専修1年生全員と大学院生1名が、夏休みを利用して、北海道過疎地域である厚沢部町の農家等へホームステイを行いました。この研修は、現地の人との関わりを通して、過疎地域の現状と課題や郷土料理を学ぶとともに、コミュニケーション力を養うことを目的として実施されました。4泊5日の短い研修でしたが、参加者はかけがえのない体験となったようです。

### <参加者の声>

今回の研修のメインであった農業体験では、二人一組になり各ホストファミリーのお宅で農作業のお手伝いをさせていただきました。作業はどれも思った以上に重労働が多く、一日だけでもくたくたになったのに、毎日作業をしている農家の皆さんの大変さを、身をもって感じました。また、私たちが普段食べている野菜には、私たちのもともと届くまでにたくさんの人の手がかかっているのだと実感することができ、とても貴重な体験をすることができました。厚沢部町の皆さん、本当にありがとうございました。

リーダー 宇佐美典子 さん (家庭科教育専修1年生)

## 「わたしのランチコンテスト」開催

「わたしのランチコンテスト」は、コンテストに参加することにより自分の食生活や食事の栄養バランスを見直してもらおうというものです。採点の際特に気を付けたのは、ご飯の量です。一回の食事に200グラム食べてほしいことにポイントを置きました。また、一汁三菜も大事なポイントなので、この2つに重きを置き採点しました。そして、輝く第一位になったのは保健体育講座の立正伸先生。先生は毎日朝ごはんも食べ、昼食にはヨーグルト持参で食事に気を使っている様子。これからも、栄養バランスの良い食事で元気に過ごしてください。第5回も予定していますので、皆さんの参加をお待ちしています。

リーダー 黒田千尋 さん (家庭科教育専修2年生)

このほかにも、年間を通じての「なつきよん食育塾だより」の発行や、米作り体験への参加等、多くの活動を行っています。専修以外の参加もOKなので、興味のある方は一度、以下まで問い合わせてください。

問い合わせ先

家庭科教育講座 立松麻衣子 先生  
電話：0742-27-9247 メール：maiko@nara-edu.ac.jp

# 連載 企画 下宿生 インタビュー

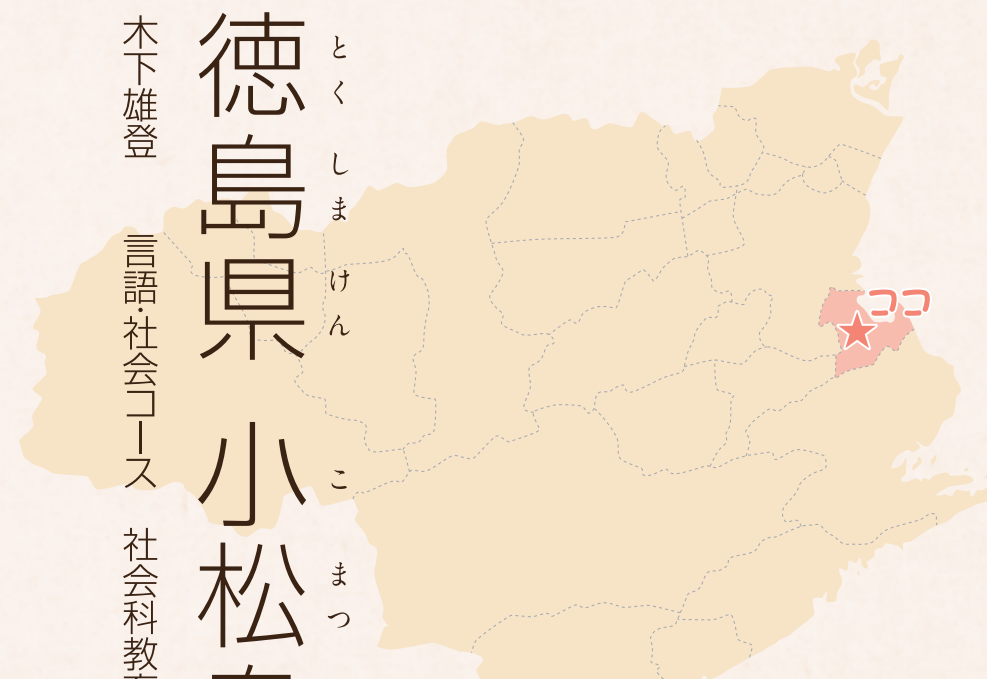
このコーナーは、地元を離れ奈良で生活している学生さんたちに、奈良に来て初めての感想や、ふるさとの自慢話、紹介をしてもらおうというものです。今回は、2回生の木下雄登さんに答えていただきました。

木下雄登

言語・社会コース

社会科教育専修2年生

# 徳島県 小松島市



## インタビュー内容

- 1 奈良のすきなところ
- 2 奈良に来て驚いたこと (地元にはないもの・こと)
- 3 ふるさと紹介
- 4 ふるさとの自慢できること
- 5 ふるさとの観光地、おすすめスポット
- 6 ふるさとの名物料理・土産

## 【方言】

- 「か(ん)まん」…かまわない。
- 「しんだい」…疲れている。(精神的に)
- 「たっすい」…しようもない。
- 「ほなけん」、「～けん」…～だから。

- 1 自分の住んでいたところと同じような静かな雰囲気があるところ(特に国際学生宿舎周辺)が好きです。また、難波や梅田などの大都市に比較的短時間で行くことができることも好きです。
- 2 大学内に鹿が日常的に歩き回っていることには非常に驚きました。奈良公園などの観光地にだけしかいないと思っていたので初めて見たときには少しうれしかったです。また、観光客の多さにも驚きました。普通の休日にもかかわらず、三条通りが人で埋め尽くされた光景を見たときには、奈良には多くの観光客が訪れていると実感しました。
- 3 徳島県は四国の東側に位置していて、奈良や大阪から比較的近い(それでも帰省するときには5時間前後かかります)県です。四国にあるということだけあって、徳島県は田畑などの自然を感じさせてくれるところがあるところがあります。ただ、電車などの交通網があまり発達していないので、移動するときには車をよく使います。
- 4 交通量が多い道路から外れると車あまり通らないので、静かで過ごしやすいところが挙げられます。また、吉野川という大きな河川があるので飲み水には困らず、その水もおいしい(自分はあまり感じませんが)ところも挙げられます。
- 5 観光地ではないのですが、徳島といえばまず「阿波踊り」が挙げられると思います。8月12日～15日までの4日間は徳島県の様々な場所で「阿波踊り」が見られ、気分を高揚させてくれます。また、鳴門海峡の自然が生んだ「鳴門の渦潮」や葛類で作った橋「かずら橋」(橋が揺れることもあって怖い)などの観光スポットがあります。
- 6 徳島県の名産品としては「すだち」が知られていますが、他にも「なると金時(さつまいも)」や「阿波尾鶏(鶏肉)」などもあります。そして、私がお薦めしたいのは「フィッシュかつ」という徳島県の一部の地域(特に東部)で食べられているローカルフードです。これは、魚のすり身にカレー粉などの香辛料を入れてパン粉をまぶして揚げた食品です。私が徳島にいたときはこれを焼いて焼き肉のたれをつけて食べたり、マヨネーズをつけて食べたりしました。もし、徳島に行く機会があればぜひ食べてみてください。

- 1 阿波踊り
- 2 鳴門の渦潮
- 3 すだち
- 4 フィッシュかつ

